



民宿の新しいカタチに  
チャレンジしながら、  
ここを育てて  
いきたいです。

Interview

ことりほーむ

大鷹 敦代さん



元々は近所の人が気軽に集える“街のサロン”を作ろうとはじめた古民家の改修。  
そこから、農林漁家民宿経営がはじまりました。その経緯や、これからの思いをじっくりお伺いしました。

## 現在、農林漁家民宿をどのような形で営業されていますか？

築80年以上の古民家を改装して1棟貸しスタイルで2022年7月に開業しました。自由に使える部屋は1階に20畳ほどの大きな洋間が1つ、2階に洋間1つと寝室として使っていただく6畳間が2つあり、計4部屋で最大5名までご利用いただけます。

また、うちは宿泊スタイルが少し変わっていて、お布団やベッドの準備はなく、お客さまに寝袋で宿泊いただいています。料金はその寝袋に加えてバスタオル、フェイスタオル、非常食用の缶入りパンを基本セットとして、おひとりさま5,000円頂戴しています（お子さまも同じ）。寝袋も含め基本セット品はすべてお持ち帰りいただけます。寝袋を持参される方は、3,000円にさせていただきます。この寝袋スタイルについては「アウトドアみたいで楽しい」といった反応や、最近「宿の布団で寝るのが苦手」という方も結構いらっちゃって、意外と好評なんですよ。宿の手間を減らすこともでき、運営している私たちの時短にもつながっています。

食事は基本的にお客さままで自炊をお願いしています。広いキッチンや食器などは、ご自由にお使いいただけます。それと、お好み焼き店から譲り受けた大きくて分厚い鉄板もあって、これも自慢のひとつです。お好み焼きや鉄板焼きをすると、とても美味しく仕上がります。食材などはもちろん持ち込み自由ですから、料理を存分に楽しんでいただきたいです。

宿の周辺には、『国営讃岐まんのう公園』など自然に親しめる環境が広がり、訪れる方は心地いい休日を過ごせると思います。

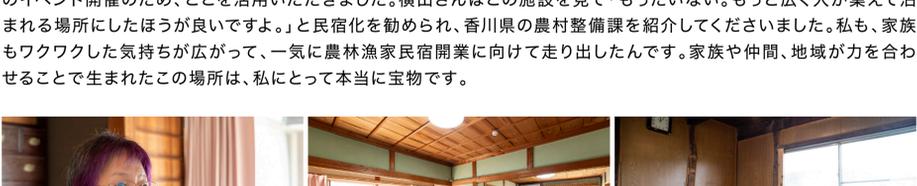


築80年以上の古民家を改装。1棟貸しで始めた農林漁家民宿

## なぜ農林漁家民宿をはじめようと思ったのでしょうか？

まんのう町は過疎化が進んで、お年寄りの一人暮らしが多くなってきました。それで私は、街に暮らす誰もが気軽に立ち寄りやすく交流できる“街のサロン”のような場所を創りたくて古民家を購入しました。この場所の目玉として“薪で焚くお風呂”を思いついて、左官をしている義父やまんのう町の『地域おこし協力隊』の協力を得て作ったのです。

ここが街のサロンとしてオープンして間もない頃、農学博士で森林インストラクターの横山昌太郎さんに地域おこしのイベント開催のため、ここを活用いただきました。横山さんはこの施設を見て「もったいない。もっと広く人が集えて泊まれる場所にしたほうが良いですよ。」と民宿化を勧められ、香川県の農村整備課を紹介してくださいました。私も、家族もワクワクした気持ち広がって、一気に農林漁家民宿開業に向けて走り出したんです。家族や仲間、地域が力を合わせることで生まれたこの場所は、私にとって本当に宝物です。



多くの方が自由に使える農林漁家民宿に育てたい

## 開業するための経費について教えてください

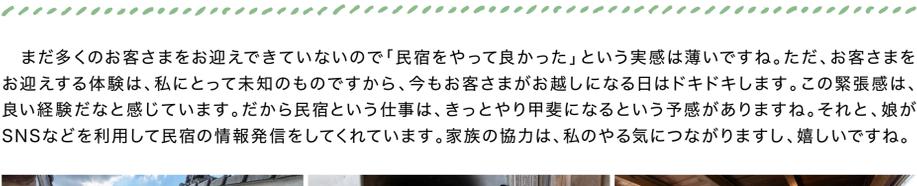
施設のベースになる古民家の購入に60万円ほど掛かりました。その後、薪風呂の工事に70万円ほど、トイレの簡易水洗化の改修費が60万円掛かりましたが、そのうち50万円は持続化給付金を利用していただきました。あと、駐車場の整備、備品の購入、ペンキ塗りなど自分たちでおこなう改修などに費用がかかりましたね。開業のための自費負担はトータルで150万円程度でしょうか。

## 旅館業法等の開業手続きは、ご面倒ではなかったですか？

農林漁家民宿開業にあたっては、申請書類の作成や旅館業法、建築基準法など法令クリアの手続きが大変だと聞いていたので、私にできるかなと恐々でした。ところが、香川県農村整備課の方がすべてに尽力くださり、承認までほとんど苦労しなかったですね。消防法についても、たまたまこの建物の売主さんが現役の消防士で、的確なアドバイスがもらえたので助かりました。開業の承認をいただいた時は、身近に助けてくださる方がいたおかげだなと感謝しました。本当に幸運に恵まれていたと思います。

## 農林漁家民宿を開業して良かったことは何ですか？

まだ多くのお客さまをお迎えできていないので「民宿をやって良かった」という実感は薄いですが、ただ、お客さまをお迎えする体験は、私にとって未知のものですから、今もお客さまがお越しになる日はドキドキします。この緊張感、良い経験だなと感じています。消防法という仕事は、きっとやり甲斐になるという予感がありますね。それと、娘がSNSなどを利用して民宿の情報発信をしてくれています。家族の協力は、私のやる気につながりますし、嬉しいです。



穏やかな環境、薪風呂、大きくて分厚い鉄板が自慢です

## 宿泊者とのエピソードで心に残ったことがあれば教えてください。

うちは基本的に、お客さまとお会いせずに施設利用の説明書と電話などで対応し宿泊していただいています。でも通常は、呼ばれたらすぐにお伺いできる距離にいます。

ですが、あるお客さまがいらっしゃる予定の日と、私の旅行の予定日がかぶったことがありました。お客さまにその旨をご説明すると「それでも構わない」とのことでしたので、思いきって状況を楽しくてくださっている様子で「ここは蛙の音がすごく賑やかだね。びっくりした」など、民宿や街の環境についての感想を電話で伝えてくれて、宿泊も説明書に沿って問題なくお過ごしいただきました。ありがたかったですね。直接的な出会いはありませんでしたが、この出来事はお客様とふれあえた実感があり、とても心に残るものになりました。



「農林漁家民宿に新しいスタイルを取り入れたい」と語る大鷹さん

## 農林漁家民宿の魅力は何ですか？

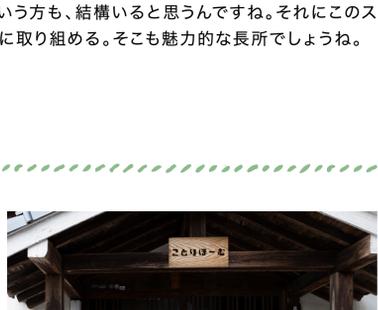
自分の本業は宅配弁当店で、その仕事がとても忙しいんです。そんな私でも、きちんとお出迎えと宿泊いただける準備をしておけば、リモート対応でご利用いただける。これも『農林漁家民宿』の運営の一つじゃないのかなと感じています。

もちろん、農林漁家民宿として、農業体験などのプログラムも準備していますが、コロナ禍以降はお客さまも多様化していて「できるだけ人と会わずにプライベートな時間を過ごしたい」という方も、結構いると思うんですね。それにこのスタイルなら、自分の時間やしたいことを犠牲にすることなく、民宿経営に取り組める。そこも魅力的な長所でしょうね。

## 農林漁家民宿の今後の目標を教えてください

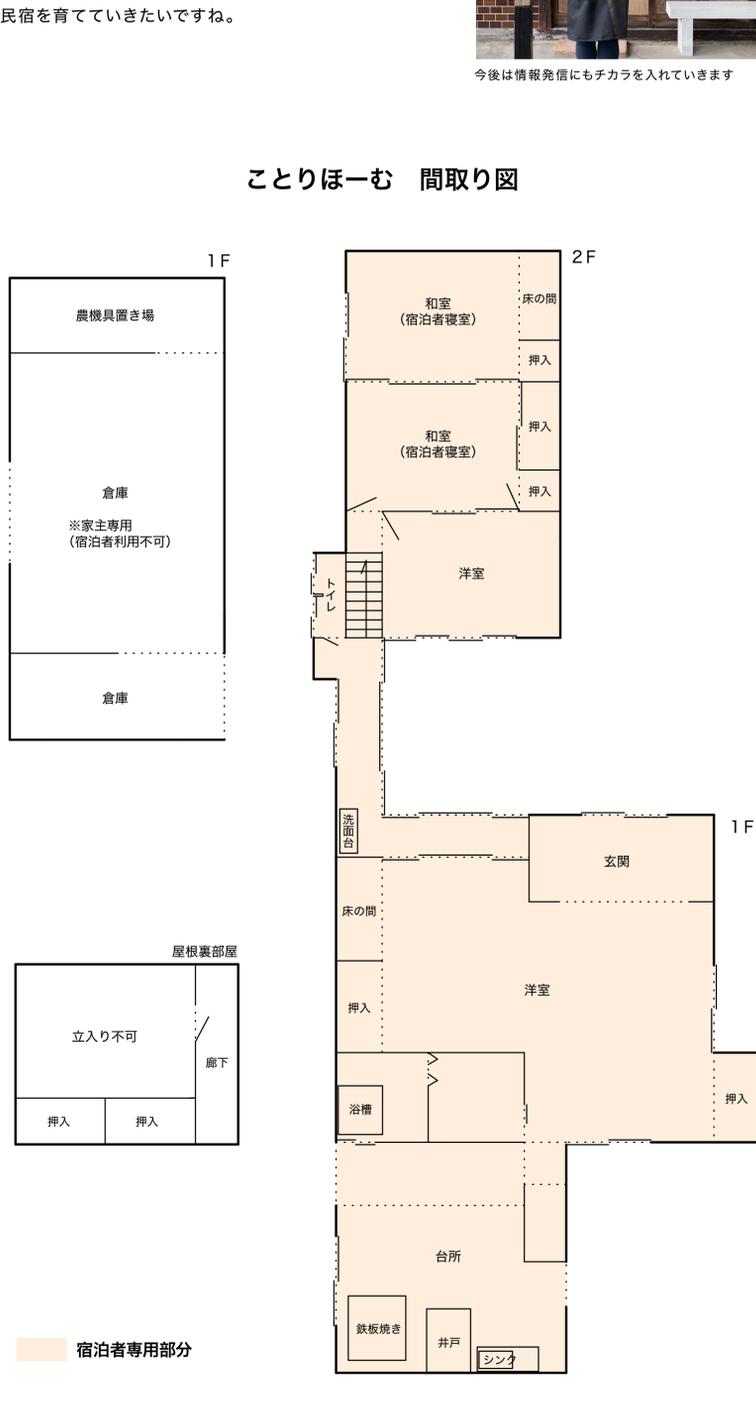
とにかく色々な方にこの民宿を使っていただきたいですね。それを実現するためには、まだ情報発信が足りないなので、今後の改善点のかなと思います。しっかり民宿をアピールして多くの方をお迎えすれば、きっとそのお客さまから新たな要望が聞けるので、施設の改善についてはそこから考えていきたいですね。私は「こうじゃなきゃダメ」という考え方は持っていないので、どんどん新しいことをこの場所に取り込んでいきたいですね。

まんのう町には、全国的に人気の音楽イベントなどもありますから「そのイベントに泊まっていただくためには」とか、今は家族で様々なアピール計画を検討中です。いつまわくとか、今持家持、これからも民宿を育てていきたいですね。



今後は情報発信にもチカラを入れていきます

## ことりほーむ 間取り図



## ことりほーむ 基本情報

住所	〒766-0201仲多度郡まんのう町造田1651-1
電話番号	0877-89-3316
活用した建物	古民家
営業期間	通年不定休(要予約) チェックイン: 15:00 チェックアウト:10:00 応相談
宿泊スタイル	1棟貸し
体験メニュー	農作物収穫体験、薪風呂入浴体験
食事	提供いたしません。
宿泊料	素泊まり1泊(寝袋付)大人1名5,000円、(寝袋なし)3,000円 お子さまも同額 ※お支払い 現金のみ
ホームページ	<a href="https://www.instagram.com/kotori_home3316/">https://www.instagram.com/kotori_home3316/</a>

※施設の情報は、令和6年1月31日現在のものです。